



OSPF 再送信回数制限の設定

- [OSPF 再送信回数制限の制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [OSPF 再送信回数制限に関する概要 \(1 ページ\)](#)
- [OSPF 再送信回数制限の設定 \(2 ページ\)](#)
- [例：OSPF 再送信回数制限の設定 \(2 ページ\)](#)
- [OSPF 再送信回数制限に関するその他の参考資料 \(3 ページ\)](#)
- [OSPF 再送信回数制限の機能履歴 \(3 ページ\)](#)

OSPF 再送信回数制限の制約事項

再送数の制限は、非ブロードキャストマルチアクセス (NBMA) ポイントツーマルチポイントの直接回線でのアップデートパケットには適用されません。この場合は、デッドタイマーを使用して応答しないネイバーとの通信を終了することで再送信を停止します。

OSPF 再送信回数制限に関する概要

デマンド回線および非デマンド回線の両方に、データベース交換パケットおよびアップデートパケットの再送信回数の制限があります。これらのパケットの再送は、いったんリトライ制限に到達すると停止します。これにより、ネイバーが隣接関係の形成中に何らかの理由で応答しない場合に、パケット再送の繰り返しでリンクが不要に使用されることを防ぎます。

デマンド回線と非デマンド回線の再送信の制限はいずれも 24 回です。

`limit-retransmissions` コマンドを使用すると、再送数の制限を解除 (ディセーブルに) するか、再送の最大数を 1 ~ 255 の範囲の値に変更できます。

利点

`limit-retransmissions` コマンドを設定することで、Cisco IOS ソフトウェアの以前のリリースまたは他のリリース、あるいはこの機能を持たない他のルータとの下位互換性が確保されます。

OSPF 再送信回数制限の設定

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **router ospf process-ID**
4. **limit retransmissions**{[dc {max-number | disable}][non-dc {max-number | disable}]}
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device>enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Device#configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	router ospf process-ID 例： Device(config)#router ospf 18	OSPF ルーティング プロセスを設定し、OSPF ルータ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	limit retransmissions {[dc {max-number disable}][non-dc {max-number disable}]} 例： Device(config-router)#limit retransmissions dc 5	デマンド回線および非デマンド回線の両方について、データベース交換パケットおよびアップデートパケットの再送信回数の制限を設定します。
ステップ 5	end 例： Device(config-router)#end	アドレス コンフィギュレーション モードを終了して、特権 EXEC モードに戻ります。

例：OSPF 再送信回数制限の設定

次に、OSPF 再送信回数制限の設定例を示します。

```
router ospf 18
limit retransmissions dc 5
```

OSPF 再送信回数制限に関するその他の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
OSPF の設定	IP ルーティング : OSPF 設定ガイド
OSPF コマンド	IP ルーティング : OSPF コマンドリファレンス [英語]

OSPF 再送信回数制限の機能履歴

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリースおよび関連情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

リリース	機能	機能情報
Cisco IOS XE Gibraltar 16.11.1	OSPF 再送信回数制限	OSPF 再送信回数制限機能は、デマンド回線および非デマンド回線の両方について、データベース交換パケットおよびアップデートパケットの再送信回数の制限を追加します。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェアイメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> [英語] からアクセスします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。